

令和元年度 浜中町ふるさと納税実績

浜中町では、令和元年度に全国各地の方からふるさと納税をしていただき、22,599件、375,696,000円の寄附をいただきました。

皆様からいただいた寄附金につきましては、「ふるさと納税基金」として全額積み立てをしておりますが、令和元年度には、下記のとおり寄附金を活用させていただきましたことをご報告いたします。

今後も「地域を支える地場産業の振興」「若い世代への子育て支援の充実」等、住み良いまちづくりを進めてまいりますので、浜中町の応援よろしく願いいたします！

○令和元年度ふるさと納税基金積立金活用状況

事業	使用金額	使用事業
漁業の振興に関する事業	50,436千円	漁港維持補修、新川・琵琶瀬航路掘削 ウニ種苗センター予定地測量調査委託料 等
農業の振興に関する事業	10,886千円	酪農技術センター運営費補助 町乳牛検定組合補助、研修牧場負担金 等
その他産業の振興に関する事業	2,501千円	町観光協会補助金
自然環境並びに地域景観の保全及び活用に関する事業	9,875千円	霧多布湿原センター管理運営助成金
医療及び福祉の充実に関する事業	12,203千円	ふれあい広場遊具設置工事
教育及び文化スポーツの振興に関する事業	12,008千円	総合体育館修繕料 スクールバス運行委託料 等
事業の指定のないもの	15,742千円	町運営費 等
合計	113,651千円	



○新川・琵琶瀬航路掘削

琵琶瀬瀬戸航路は、従来よりコンブ漁等の出漁に使用されてきた航路となっております。

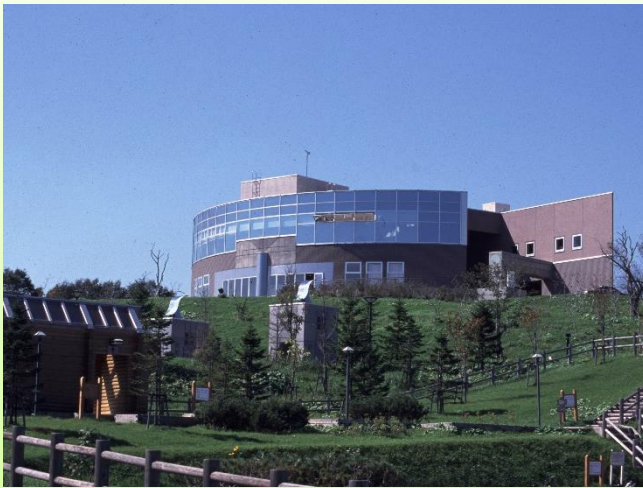
特に近年では、ウニやカキの養殖漁場への航行に必要不可欠となっているため航路掘削を行いました。

掘削前は航行時に船を痛めてしまう方もいたが、航路掘削により安全に航行できるようになりました。

○ふれあい広場遊具設置工事

令和元年11月に茶内ふれあい広場に新しく児童用複合遊具を設置いたしました。児童用複合遊具は、すべり台や階段、くぐりパネル等、特に小さなお子さんが楽しめるアイテムが備わっております。

親子やご家族同士でのふれあいの場として活用していただけるような広場となりました。



○霧多布湿原センター管理運営助成金

霧多布湿原センターでは、湿原を中心とした自然体験学習や観光ガイドツアーの実施を行っております。

令和元年度は約3万人が訪れ、浜中町の自然に触れあっていただきました。

霧多布湿原の生息植物の調査研究や、教育旅行の受け入れ等様々なことに基金を活用させていただいています。

○研修牧場負担金

浜中町就農者研修牧場では、新規就農希望者を研修生として受け入れ、独立に向けた酪農研修を行っております。研修生が就農するまでのおよそ3年間にわたり実践的研修を行い、浜中町の酪農家として独立してもらいます。

平成3年の設立から現在まで20組以上の方が独立し町内で酪農業を営んでおります。

基金を研修牧場の運営費等として活用させていただいております。

